



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 豊かな心の育成
- ④ 健やかな身体の育成
- ⑤ 特別支援教育の推進
- ⑥ 生徒の良さを伸ばし、課題を解決するための「連携・協働」の推進



有意義な春休みを過ごすために

いよいよ3学期が終わります。26日（木）から、1・2年生は、春休みに入ります。春休みは、気持ちを切り替え、心身を整える大切な時間です。学年の区切りとして、自分の歩みを振り返る良い機会にもなります。新しい学年を気持ちよく迎えられるよう、心と体を整えて過ごしましょう。

一方で、気持ちが開放的になり、生活リズムが乱れたり、事故やトラブルに巻き込まれたりする心配もあります。春休みこそ、自分を律する力が求められます。安全に気をつけ、規則正しい生活を心がけてください。

4月から、2年生は「最上級生」、1年生は「先輩」になります。学校の中心として、後輩を導く立場です。これまでの自分の成長や課題を見つめ直し、次への志を高く持って新年度を迎えてください。皆さんの姿勢が、学校全体の雰囲気を作っていきます。

この一年で、皆さんは大きく成長しました。できるようになったこと、もっと頑張りたいと思ったこと、どれも大切な学びの連続でした。自分では気づきにくくても、保護者や家族の皆さんは、その成長をしっかり感じ、喜んでいてくれます。これからも努力を続けていきましょう。

家庭学習特集号

春休みの過ごし方は、次の一年を大きく左右します。目標を立て、計画的に過ごしましょう。家庭での学習（復習）にも取り組んでください。「何をすればよいか分からない」「続かない」「成果が見えにくい」など、難しさを感じる場面もあるでしょう。

学習は“習慣”です。一朝一夕で身につくものではありません。“継続は力なり”といます。

ここでは、松坂桃李さん主演の学園ドラマ『御上先生』でも紹介された「アクティブ・リコール（積極的思い出学習法）」を紹介します。ドラマの中で、御上先生は、授業中にあえて板書を消し、生徒に白紙の紙を配って「今日学んだことを書いてみよう」と促す場面が出てきます。突然のことに戸惑う生徒もいますが、ある生徒が「それって、アクティブ・リコールですね」と気づき、この学習法の大切さを説明するのです。

アクティブ・リコールは、教科書を見返す前に、自分の頭だけで内容を思い出す、能動的な学習法です。「思い出す → つなげる → 自分の言葉で説明する」という流れがポイントで、ただ読むだけの復習より効果が高いことが分かっています。短時間でも取り組めるため、家庭学習に取り入れやすい方法です。家庭学習の質を高め、学習への自信につなげてください。

アクティブ・リコール 4つのステップ

- ① 教科書を見ずに、覚えたいことを書き出す。
- ② 教科書を見て、できたところ・忘れていたところを確認する。
- ③ ①と②をくり返す。
- ④ 時間をあけて、①～③をくり返す。

今日の学習でできたこと、うまくいかなかったことを振り返ることで、次の学習につなげることが出来ます。例えば、歴史を復習するなら、「戦国時代の織田信長・豊臣秀吉・徳川家康」をテーマに、自分の言葉でまとめてみたらどうでしょうか。「主体的に考えること」がポイントです。



保護者の皆さまへ

この1年間、学校だより『やまゆり』をご覧いただき、ありがとうございました。日々の学校生活や生徒の様子、そして校長としての願いや思いをお伝えしてまいりました。いかがだったでしょうか。心より感謝申し上げます。これからも、生徒一人ひとりの成長を大切にしながら、学校全体で力を合わせて取り組んでまいります。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。